

進めています！自己改革



私たちは、平成28年度から農家・組合員や地域の方々の豊かな暮らしを支えるため、「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」「**地域の活性化**」の3つの目標を掲げ、具体的な目標値や行動計画を設定して、自己改革に取り組んでいます。
令和2年度においても、組合員・地域住民の声に基づく自己改革を実践し、農業協同組合の使命である農業所得の向上や地域農業の振興、さらには、地域に根ざした協同組合として「食」と「農」を通じた地域貢献活動に取り組んでいきます。

JAからつが取り組んでいる自己改革の一部を紹介します

和牛受精卵移植事業について

子牛生産基盤の維持・拡大に向けた取り組み



●和牛子牛生産頭数の拡大について

現在、佐賀県内では畜産農家の高齢化による生産戸数の減少に伴い、子牛頭数が不足しています。
そうした中、JAからつ畜産部では全農ET研究所の協力のもと、管内の優良和牛繁殖雌牛から受精卵を採取し、管内の和牛、乳牛、交雑種に移植を行い、子牛頭数の拡大に取り組んでいます。

●和牛受精卵移植の取り組み結果(H31.4月からR2.8月までの実績)

	H31.4.12	R元.6.20	R元.8.6	R元.11.18	R2.1.30	R2.4.3	R2.6.18	R2.8.6
移植頭数	81	84	101	80	73	74	55	72
受胎頭数	43	52	58	45	39	47	未確定	
受胎率	53%	62%	57%	56%	53%	64%	未確定	
出生頭数	35	48	48	39	まだ出生していないためデータなし			
出生率	81%	92%	83%	87%	まだ出生していないためデータなし			
事故率	19%	8%	17%	13%	まだ出生していないためデータなし			

こうした取り組みを行うことで、繁殖農家は受精卵を販売し子牛以外の収入を得られ、所得増大にもつながっています。